

いごいのみぎわ
天路歷程 ジョン・パニヤン

第52話

2022年11月13日～11月19日 各家庭でのディボーション用テキスト

すると彼は言われました、「キリスト・イエスは、罪びとを救うためにこの世にきて下さった。【Iテモ1:15】彼はすべて信じる者に義を得させるために、律法の終りとなられた。【ロマ10:4、ロマ4章】主は、私たちの罪過のために死に渡され、私たちが義とされるために、よみがえらされたのである。主は私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解放された。主は神と私たちとの間の仲保者である。主はいつも生きていて私たちのためにとりなしておられる」。【黙1:5、Iテモ2:5、ヘブ7:24-25】これらすべてから私は考えました、私は彼の人格のうちに義を求め、彼の血による私の罪の贖いを求めるべきであり、彼が父の律法に従い、また刑罰に服してなされたことは、彼自身のためでなくて、自分の救いのためにそれを受け入れて感謝する者のためであると。こうして私の胸は喜びに満ち、目は涙にあふれ、私の愛情はイエス・キリストのみ名とみ民と道とに対する愛であふれました。**基督者** これこそ本当にキリストがあなたの魂に現われたものです。ところで、とくにどのような効果をあなたの精神に及ぼしたかを話して下さい。

有望者 それによって私は全世界はその義にもかかわらずのろわれた状態にあることが分かりました。それによって父なる神は正しき方であるのに、そのみ許に来る罪びとを義とすることができるのも当然であることが分かりました。それによって自分の前生涯の罪深さを大いに恥じ入り、自分の無知を自覚して困惑しました。イエス・キリストの美しさをこのように示した考えが私の胸中に起こるということはそれ以前にはなかったことですから。それによって私は清い生活を愛し、また主イエスのみ名の名誉と栄光とのために何かをしたいと切望するようになりました。そうです、いま体の中に千ガロンの血を持っているとすれば、それを全部主イエスのために流すことができると考えました。

このとき私が夢で見ていると、有望者が振り返って、二人が後に残してきた無知者がやって来るのを見た。彼は基督者に言った、ご覧なさい。あの若者がずっと後の方でぐずぐずしていることと言ったら。

基督者 そうそう、私にも見えます。彼は私たちの仲間入りをしたくないのです。

有望者 ですが、今まで私たちといっしょに歩いて来たら、ためにならないこともなかったでしょうに。

基督者 それは本当です。しかし確かに彼はそうは思っていないでしょう。

有望者 私もそうだと思います。とは言え、彼が来るのを待つてやりましょう。

二人は彼を待った。

それから基督者は言った、さあお出でなさい、どうしてそんなに遅れるのですか。

無知者 好きな道連れがない場合には、人と連れだって行くよりも一人で歩く方がずっと楽しいのです。

それから基督者は有望者にこっそり言った、彼は私たちと道連れになることが好きでないのだと私が言ったとおりでしょう。ですが、こちらにお出でなさい。こんな淋しい所では話でもして時を過ごしましょう。それから無知者に話を向けて言った、ときに、どうですか、神とあなたの魂との関係は今どんな具合ですか。

無知者 いい方でしょう。私はいつもよい考えで一杯ですから。それは歩きながら自分を慰めるために心に浮かんでくるのです。

基督者 どのようなよい考えですか、どうか話して下さい。

無知者 もちろん、私は神と天国のことを考えているのです。

基督者 同じことを悪魔や墮落した魂も考えますよ。

無知者 ですが、私はそれを考えて望んでいるのです。

基督者 そこへは決して行けそうもないのにそうする人が沢山います。「なまけ者の心は、願い求めても、何も得ない」【箴 13:4】ですからね。

無知者 ですが、私はそれを考えて、そのためにすべてを捨てるのです。

基督者 それはどうか怪しいものです。すべてを捨てることはむずかしいことですからね。そうです、多くの人々が自覚している以上にむずかしいことです。ですが、君は神と天国とのためにすべてを捨てたと確信しているのはなぜですか、何によってですか。

無知者 私の心がそう言うのです。

基督者 賢人の言に「自分の心を頼む者は愚かである」【箴 28:26】とありますよ。

無知者 それはよこしまな心について言われたものですが、私のは善い心です。

基督者 しかし、どうしてそれを証明しますか。

無知者 私の心は天国への希望で私を慰めてくれるからです。

基督者 それは心が欺きやすいものであるためかもしれませぬね。人の心というもの、まだ望む根拠のないような物を望んでも、彼に慰めを与えることがあるからです。

無知者 ですが、私の心と生活とは一致しています。だから私の望みは十分な根拠があるわけです。

基督者 君の心と生活が一致しているとはだれが言ったのですか。

無知者 私の心がそう言うのです。

基督者 自分は泥棒かと相棒に尋ねよ、ですね。君の心がそう言うんだって！この事柄は神のみ言が証明するのでなければ、他の証明なんて価値もありませんよ。

無知者 ですが、善い考えを抱くものは善い心ではありませんか。また神の戒めに従うのは善い生活ではありませんか。

基督者 そうです、善い考えを抱くものは善い生活です。ですが、実際これらを持っているのと、ただそう考えるのとは別のことですよ。

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい